



こんにちは！暑い日が続いていますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？熱中症にならないよう、のどが渇く前に水分補給をとるように意識して、今年の夏も乗り切りましょう！

さて鈴鹿市生活支援コーディネーターだより夏号では、認知症・行方不明者についての特集と、生活支援コーディネーターが関わっている稲生地区での子ども食堂の様子をご紹介します。

認知症と行方不明者について

特集



認知症は65才以上では4人に1人とされている身近な脳の病気です。認知症になると新しいことが覚えられなくなったり、物忘れが増えて不安になったり元気がなくなったりします。近年、鈴鹿市内で認知症や物忘れが原因で、行方不明になってしまう方が増加傾向にあり、地域の福祉課題となることが多くなっています。今回の特集では認知症と行方不明者についてたくさんの人に理解していただき、鈴鹿市がだれもが安心して暮らせる街になればいいなと思います。

発見までの生存率

当日発見された場合は8割の方が生存されていますが、日数が経過するにつれ、生存率が低くなってしまいます。早期発見が鍵を握っています！



発見される場所

行方不明者の発見場所は、約6割の方が行方不明場所（ほぼ自宅付近）から1キロ圏内で発見されており、約8割の方が5キロ圏内で発見されています。近所同士の協力、情報共有が大切です！

社会福祉協議会の事業 「行方不明高齢者等のための安心ネットワーク」

鈴鹿市からの委託を受け、行方不明になった高齢者等の家族が鈴鹿警察署に「捜索願」を提出した際に、行方不明者の個人情報の開示に同意をいただければ、本会からその情報を一斉に市内協力店舗（453箇所）へFAX配信し、行方不明者の早期発見につなげています。



生活支援コーディネーターによるサポート

鈴鹿市内で行方不明高齢者等が増加傾向にあるなか、各地区より生活支援コーディネーターへ捜索活動を実施したいとの相談が複数寄せられ、マニュアル作りや捜索模擬訓練実施のお手伝いをさせていただいております。

2021.夏 活動紹介

夢ある稲生まちづくり協議会が、
地域で子ども食堂を始めました



稲生地区にて、鈴鹿市ではじめてのまちづくり協議会による「地域の子ども食堂」が始まりました。その名も「稲乃屋(いのや)」です！夢ある稲生まちづくり協議会が主体となり、7月18日(土)に第1回目の子ども食堂が開催されました。地域のお寺(本照寺)を開催場所としてお借りし、たくさんのボランティアさんにもご協力いただいて、地域みんなで作り上げる子ども食堂です。

稲生地区の新しい地域コミュニケーションの場となるように、生活支援コーディネーターが、これからも全力でサポートしていきます。



担当生活支援コーディネーター：村山

皆様の声をお聞かせください！

病院・スーパー
が遠いな…



「こんなことできたら住みやすいのに…」
「あの地区ではこんなことをやってるけど、私の住んでる地域にはないのかな？」
などの皆様からの声に生活支援コーディネーターは耳を傾け、地域みなさんとともにささえあい活動の仕組みづくりに取り組みます。

【支援内容例】

買い物付き添い、病院付き添い、ゴミ出し、
外出支援、傾聴、室内清掃など

ゴミ捨て場まで
捨てるのが
難しい…



鈴鹿市生活支援コーディネーターだより夏号をご覧いただき、ありがとうございました。
みなさん、夏バテにはくれぐれもご注意くださいくださいね！秋号もお楽しみに！

ご相談・お問い合わせは…

社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉グループ
生活支援コーディネーター まで

TEL 059-382-5971 / FAX 059-382-7330